

# 高岡の森歴史だより

## 第7回 蝦夷錦龍文打敷・ 蝦夷錦牡丹文打敷 (県立郷土館蔵)

企画展「津軽と蝦夷地展」(本誌最終ページに掲載)では、江戸時代に蝦夷地と呼ばれた北海道と津軽の関わりをヒト、モノの交流という視点で紹介しています。展示物の中から、今回は「蝦夷錦龍文打敷」・「蝦夷錦牡丹文打敷」を紹介します。

蝦夷錦は、山丹(さんたん)交易を通して蝦夷地に渡り、さらに本州へ入ってきた絹織物で、中国江南地方で作られました。山丹交易とは、江戸時代、黒竜江(※)下流域と樺太(からふと)・蝦夷地を結んだ交易活動で、黒竜江下流域を「山丹」と呼んだことに由来します。中国江南地方で作られた絹織物が中国東北部へ運ばれ、黒竜江を経て樺太・蝦夷地に持ち込まれました。金糸・銀糸などで龍文や牡丹文を表現した蝦夷錦は、その美しさと蝦夷地からもたらされた品という点で珍

高岡の森弘前藩歴史館より、展示資料や歴史ネタを毎月紹介します。  
■問い合わせ先 高岡の森弘前藩歴史館(☎83-3110)

歴史館PR動画  
公開中



重されました。県では、現在までに日本海沿岸・下北地方を中心に約30点の蝦夷錦を確認しています。主に、打敷(敷物)や刀袋などに加工され、使用されました。

今回紹介する蝦夷錦は、小泊村(現在の北津軽郡中泊町)で廻船問屋(かいせんどんや)を営み、蝦夷地で漁場経営を行った旧家に伝わったものです。龍文打敷の裏側には、入手した年と思われる1858(安政5)年の年号が墨書されています。

※黒竜江(こくりゅうこう)…ロシアと中国の国境付近を流れる大河。



▲蝦夷錦龍文打敷



▲蝦夷錦牡丹文打敷

## Hirosaki Art Times

ヒロサキ・アート・タイムズ #7

弘前れんが倉庫美術館に関連する情報を連載します。

■問い合わせ先 弘前れんが倉庫美術館(吉野町、☎32-8950、<https://www.hirosaki-moca.jp/>)

## 展覧会「りんご前線—Hirosaki Encounters」の見どころを紹介します

本展で展示する弘前ゆかりのアーティストたちの中から、今回は2人の作家を紹介します。

当市の名誉市民である洋画家の佐野ぬいさんは、制作初期から一貫して多くの青を基調とした作品を描き「青の画家」として知られています。本展では、美術館の展示空間にあわせて、「原点」と「現在」、そして作家自身がかつて想像した「夢の美術館」をキーワードに展示します。市民会館のステンドグラスの原画にもぜひご注目ください。



▲佐野ぬい《青の時間》2014年 青森県立美術館蔵(市民会館ステンドグラス原画)

当市在住の彫刻家で弘前大学教授の塚本悦雄さんは、自然に対する人間の行為をテーマに、彫刻をつくることもその一部と捉え、粘土・石・木などを素材とした彫刻やドローイングを制作してい

ます。津軽特有のマメコバチや津軽錦をモチーフにした近年の代表作や新作を展示するほか、会期中は展示室内に仕つらえるアトリエで公開制作を行います。

また、幅広い特集を通じて津軽地域を考察してきた雑誌『津軽学』の活動や、弘前の近代建築、街並みにフォーカスした展示やプログラムも行います。

▼とき 10月1日(金)～令和4年1月30日(日)の午前9時～午後5時(最終入館は午後4時30分)

▼休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12月26日～1月1日)  
※観覧料など、詳しくはお問い合わせください。



▲塚本悦雄《ツガルブーティ》2016年

## 暮らしの Information

### 広報ひろさきに掲載した 各種催しについて

広報ひろさきに掲載した各種催しや教室などは、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止の観点から、中止や内容変更となる場合がありますので、ご了承ください。詳しくは市ホームページまたは各問い合わせ先で確認を。

催しなどに参加する際は、マスクを着用するなど、感染症対策へのご協力をお願いします。

●弘前市役所 ☎35-1111  
●岩木庁舎 ☎82-3111 / ●相馬庁舎 ☎84-2111  
F…ファクス E…Eメール H…ホームページ 問…問い合わせ・申込先

▼内容 岩木かちやらず会による体験指導・販売

▼体験料 250円～(コースターほか)

【電動口クロ体験】

▼とき 10月15日(金)～17日(日)、午前10時～午後3時(所要時間約45分)

▼内容 器づくり

▼講師 佐藤学さん(津軽千代造窯)

▼体験料 1,800円(飲み物付き)

※予約優先。当日受け付け可。  
☎鳴海要記念陶房館(賀田字大浦、☎82-2902、午前9時～午後4時、火曜日は休み)

### まちなかクラフト村づくり 推進事業 特別企画

【はこだて工芸舎「柴山勝 北海道を描いた器展」】

北海道を代表する陶芸家・柴山勝の作品のほ



か、柴山氏が長年に渡って集めた古伊万里などの染付磁器コレクションや、北海道の陶器を展示販売します。

▼とき 10月8日(金)～13日(水)、午前10時～午後4時(最終日は午後3時まで)

▼ところ 藤田記念庭園考古館(上白銀町)2階ギャラリースペース

▼入場料 無料

☎はこだて工芸舎(☎0138-22-7706)

### 弥生いこいの広場 「The 角切り」



ホンシュウジカの角切りを行います。逃げ回るホンシュウジカと振り回されるスタッフとの掛け合いも見応えがあります。

▼とき 10月8日(金) 午後1時30分～

▼ところ 弥生いこいの広場(百沢字東岩木山)動物広場

▼観覧料 無料(ただし動物広場の入場料が必要)

☎弥生いこいの広場(☎96-2117)

### ロマントピア天文台 [星と森のロマントピア]

★定例観察会

「木星・土星・月面」

▼とき 16日(土) 午後7時～9時

▼入館料 無料(市民以外は有料)

▼通常開館時間 午後1時～9時30分

☎ロマントピア天文台(水木在家字桜井、☎84-2233、<https://romantopia-tenmondai.jimdofree.com>)

## 10月 図書館休館日

| 日  | 月       | 火  | 水       | 木       | 金  | 土  |
|----|---------|----|---------|---------|----|----|
|    |         |    |         |         | 1  | 2  |
| 3  | 4<br>岩  | 5  | 6<br>相  | 7       | 8  | 9  |
| 10 | 11<br>岩 | 12 | 13<br>相 | 14      | 15 | 16 |
| 17 | 18<br>岩 | 19 | 20<br>相 | 21<br>弘 | 22 | 23 |
| 24 | 25<br>岩 | 26 | 27<br>相 | 28      | 29 | 30 |
| 31 |         |    |         |         |    |    |

※変更となる場合があります。

弘 弘前図書館(下白銀町)  
☎32-3794

岩 岩木図書館(賀田1丁目)  
☎82-1651

こ こども絵本の森(ヒロロ〈駅前町〉3階) ☎35-0155

相 相馬ライブラリー(相馬やすらぎ館〈五所字野沢〉内)  
☎84-2316